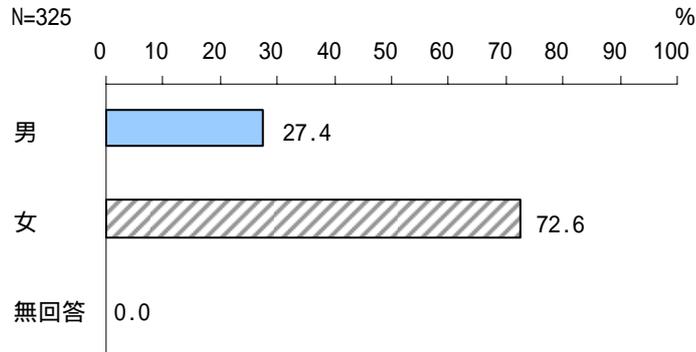


大学生本人の調査結果

(1) 性別

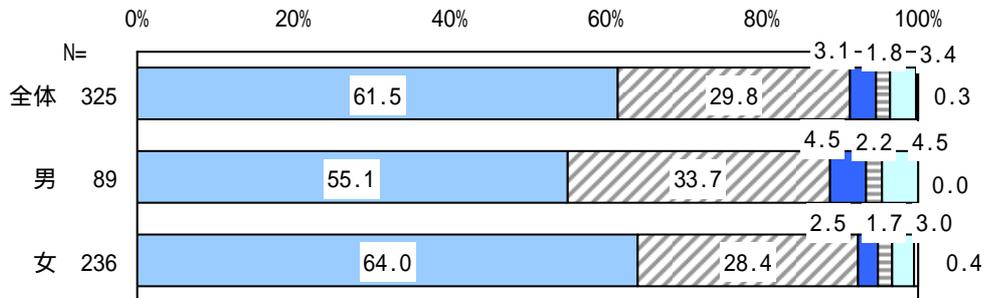
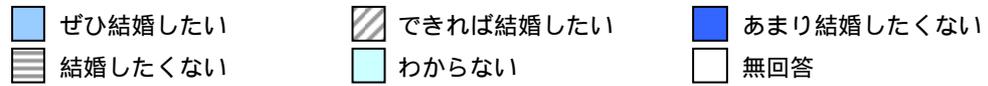
「男」の割合が27.4%、「女」の割合が72.6%となっています。



(2) 結婚願望の有無 (問1)

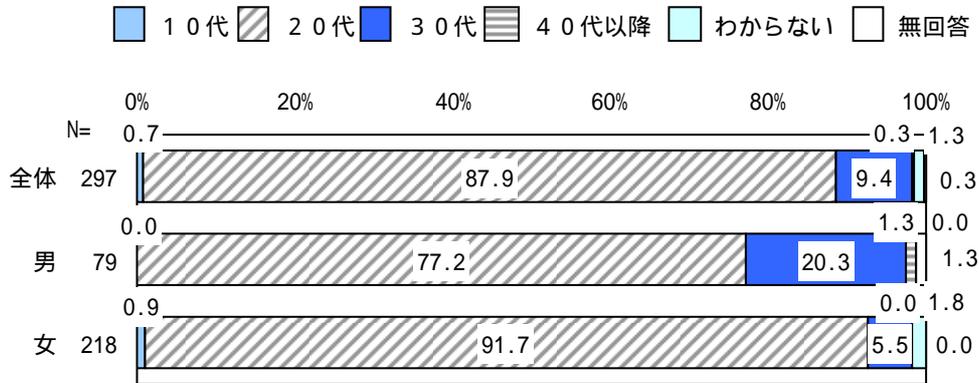
「ぜひ結婚したい」と「できれば結婚したい」をあわせた結婚したい人の割合が高く、男性は88.8%、女性では92.4%となっています。

「ぜひ結婚したい」の割合は、男性に比べ女性のほうが高くなっています。



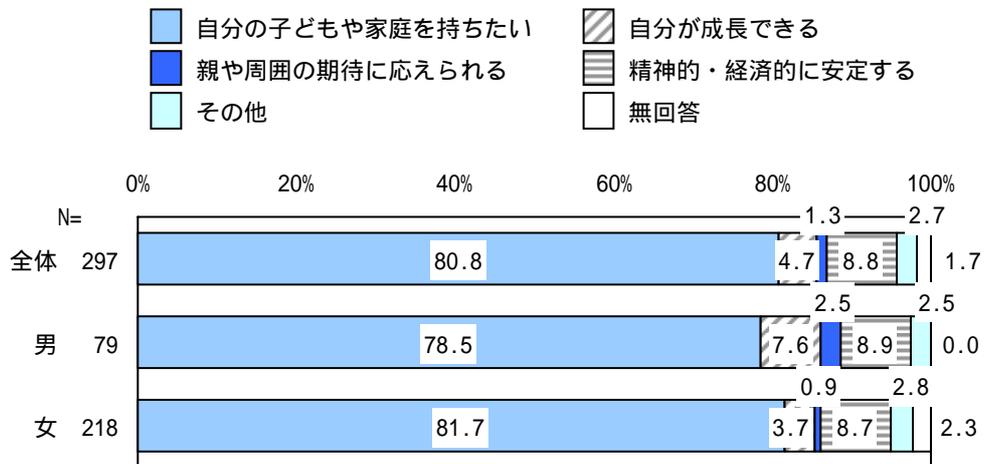
結婚したい年齢

全体で「20代」の割合が最も高く、男性では77.2%、女性では9割を超えています。男性は「30代」の割合が女性に比べ高くなっています。



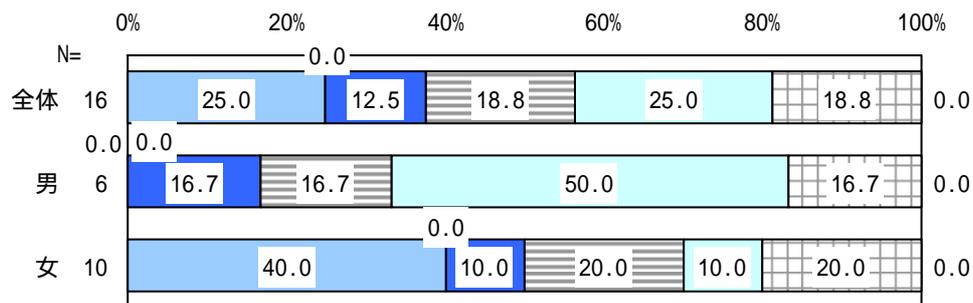
結婚したい理由

全体で「自分の子どもや家庭を持ちたい」の割合が最も高くなっており、男性が78.5%、女性は81.7%となっています。



結婚したくない理由

男性は「行動や生き方の自由が少なくなる」の割合が50.0%と最も高いのに比べ、女性では「家庭を持つのがわずらわしい」の割合が40.0%で最も高くなっています。

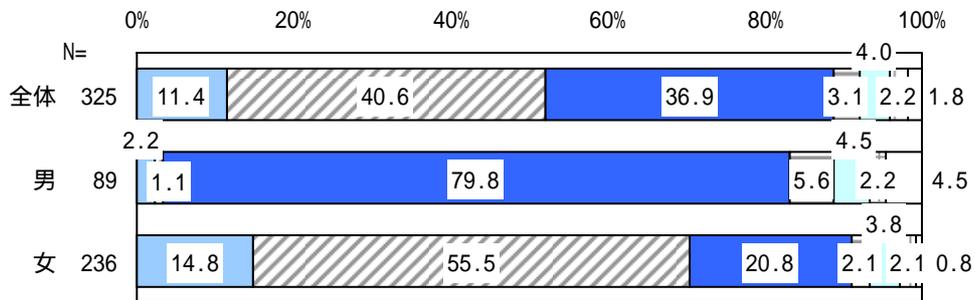


(3) 理想とするライフコース (生き方) はどのようなタイプか (問 2)

本人

男性は「結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい」の割合が79.8%と最も高くなっており、女性では「結婚し子どもを持つが結婚・出産で一旦退職し子育て後仕事を持つ」の割合が55.5%で最も高くなっています。

- 結婚し子どもを持ち結婚・出産で退職しその後は仕事を持たない
- 結婚し子どもを持つが結婚・出産で一旦退職し子育て後仕事を持つ
- 結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい
- 結婚するが子どもを持たず、仕事を続けたい
- 結婚せず、仕事を続けたい
- その他
- 無回答

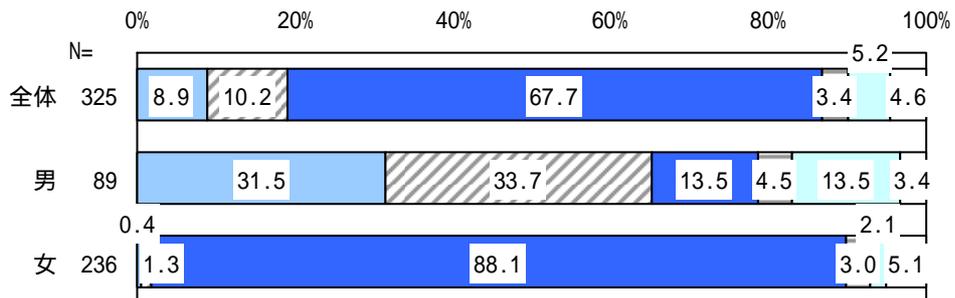


パートナー

男性は「子どもを持ち結婚・出産で退職しその後は仕事を持ってほしくない」「子どもを持つが結婚・出産で一旦退職し子育て後仕事をしてほしい」の割合がともに3割を超えて高くなっています。

女性では「子どもを持つが、仕事を続けてほしい」の割合が88.1%で最も高くなっています。

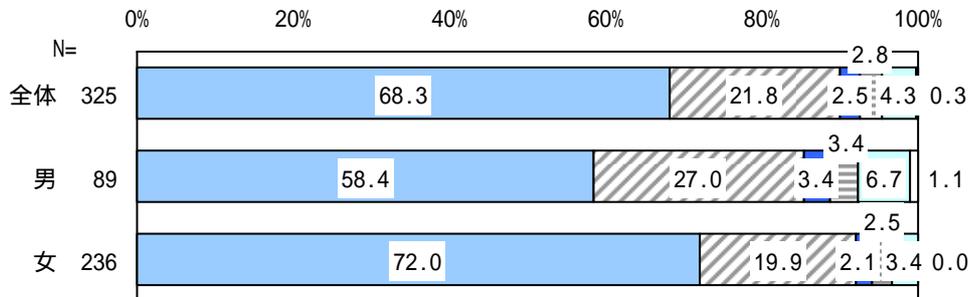
- 子どもを持ち結婚・出産で退職しその後は仕事を持ってほしくない
- 子どもを持つが結婚・出産で一旦退職し子育て後仕事をしてほしい
- 子どもを持つが、仕事を続けてほしい
- 子どもを持たず、仕事を続けてほしい
- その他
- 無回答



(4) 将来子どもが欲しいか (問3)

「ぜひ欲しい」と「できれば欲しい」をあわせた子どもが欲しいと思っている人の割合が、男性の85.4%に比べ女性は91.9%で高くなっています。

■ ぜひ欲しい
 ▨ できれば欲しい
 ■ あまり欲しくない
 ▨ 欲しくない
 ■ わからない
 □ 無回答

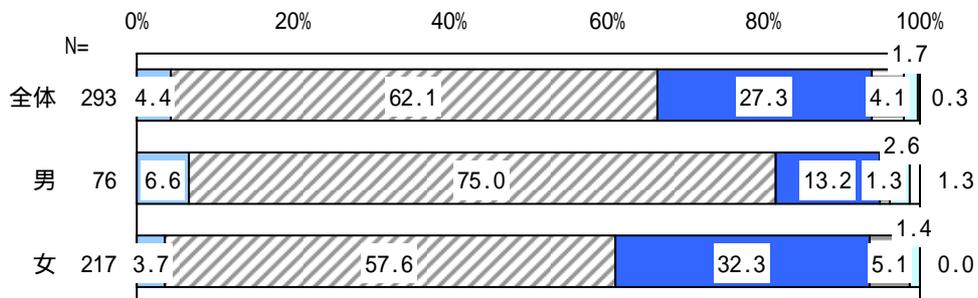


希望する子どもの人数

男性は「2人」の割合が75.0%で最も高くなっています。

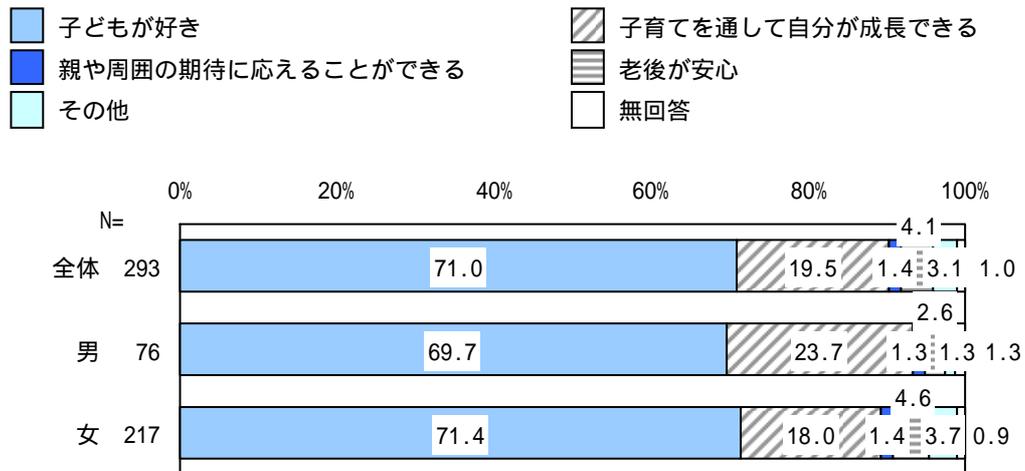
女性は「2人」の割合が57.6%で最も高く、次いで「3人」が32.3%となっています。

■ 1人
 ▨ 2人
 ■ 3人
 ▨ 4人以上
 ■ わからない
 □ 無回答



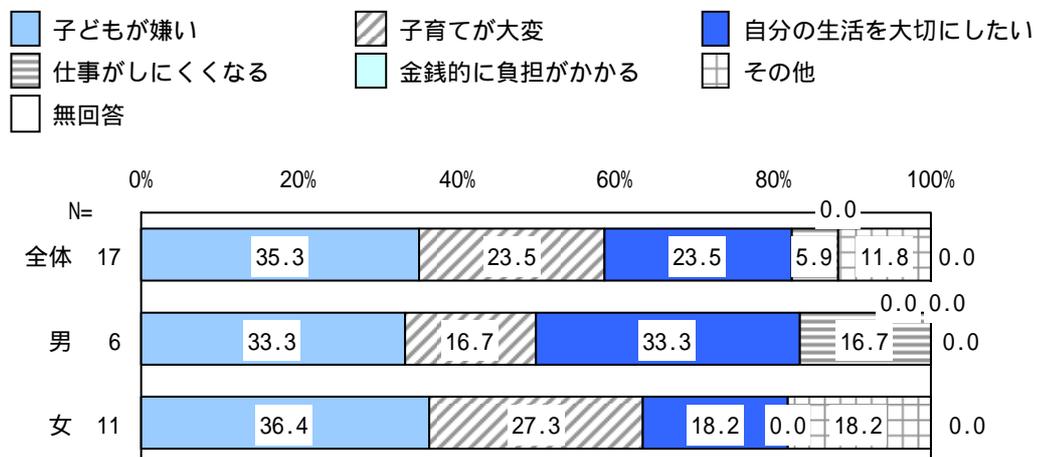
子どもが欲しい理由

男性・女性ともに「子どもが好き」の割合が7割前後で最も高くなっています。



子どもが欲しくない理由

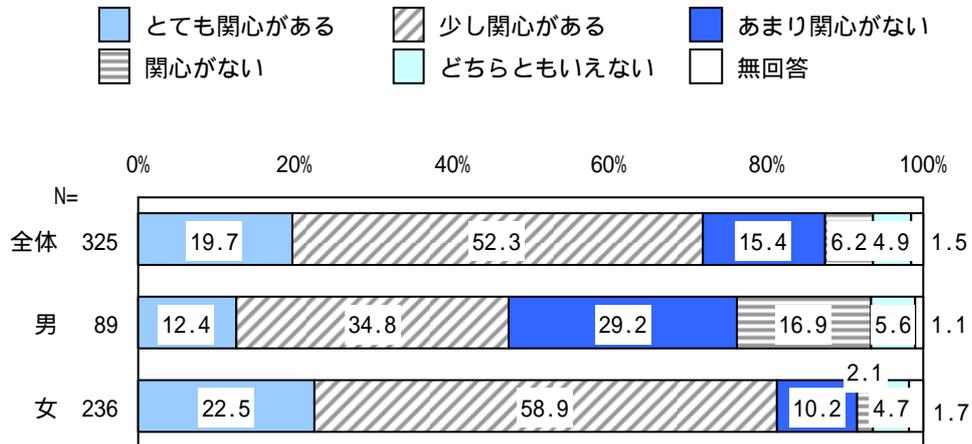
男性は「子どもが嫌い」「自分の生活を大切にしたい」の割合がともに33.3%（2人）で高くなっています。女性では「子どもが嫌い」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子育てが大変」の割合が27.3%となっています。



(5) 少子化への関心度 (問 4)

「とても関心がある」と「少し関心がある」をあわせた少子化に関心がある人の割合が、男性は47.2%に比べて女性は81.4%と高くなっています。

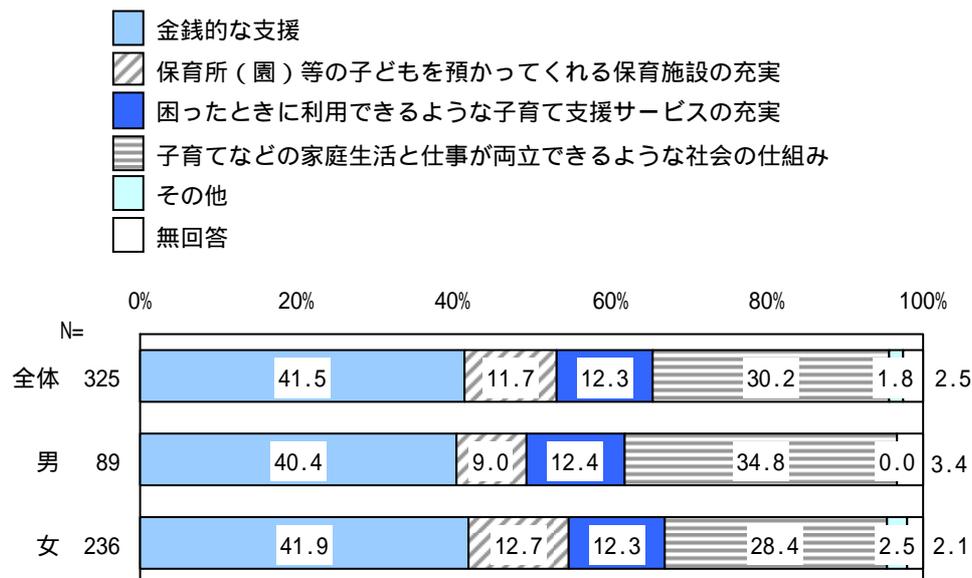
一方、「あまり関心がない」と「関心がない」をあわせた少子化に関心がない人の割合が、女性は12.3%に比べて男性は46.1%と高くなっています。



(6) 少子化を解消するための有効な手立て (問 5)

男性・女性ともに「金銭的な支援」の割合が約4割で最も高くなっています。

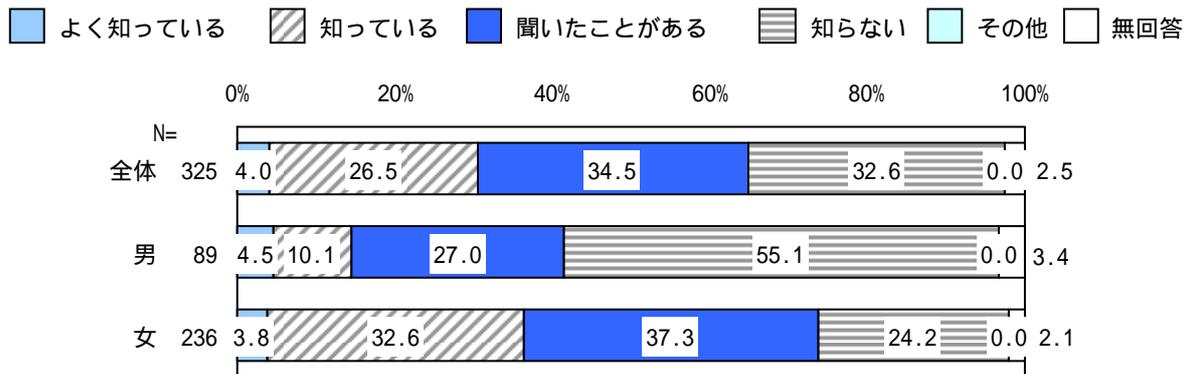
「子育てなどの家庭生活と仕事が両立できるような社会の仕組み」の割合が、女性は28.4%に比べ男性は34.8%で高くなっています。



(7) 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）の認知度（問 6）

男性では「知らない」の割合が 55.1%で最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 27.0%となっています。

女性では「聞いたことがある」の割合が 37.3%で最も高く、次いで「知っている」の割合が 32.6%となっています。



(8) 幼稚園と保育所（園）の今後のあり方について望ましいと思うこと（問 7）

「保護者の状況に関わらず同じ年齢の子は同じ教育を受ける」の割合が、男性は 38.2%に比べ女性は 44.1%で高くなっており、「現状のままでよい」の割合では、女性が 31.8%に比べ男性 36.0%で高くなっていきます。

